

新たなごみの資源化施設について

「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を踏まえて、2013年に策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、整備を進めている新たなごみの資源化施設について、2017年6月以降の進捗状況等を報告いたします。

1 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

（1）相原エリア

「相原地区資源ごみ処理施設連絡会」における施設計画等の検討結果を踏まえて、発注仕様書の検討を行っています。また、資源ごみ処理施設の建設用地に関しては、引き続き調査及び地権者との調整を行っています。

今後、「相原地区資源ごみ処理施設連絡会」では、事業の進捗に合わせて発注仕様書の確認や施設の運営等に関する検討を進めていきます。

（2）上小山田エリア

これまでに「上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会」を2回開催し、整備する施設の概要、施設計画や環境対策等に関する市の基本的な考え方を確認していただいています。2017年9月25日に開催予定の第3回地区連絡会では、資源ごみ処理施設のコンセプト等の検討と施設の建設に向けて必要な手続きや調査等の説明を行います。

2 熱回収施設等（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

（1）地区連絡会

2017年10月18日開催予定の第15回「町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会」では、現在検討中の施設計画の概要の報告と合わせて、施設の運転等に関して周辺地域等と町田市とで締結を予定している「（仮称）環境保全協定」の検討を進めます。

（2）事業の進捗状況について

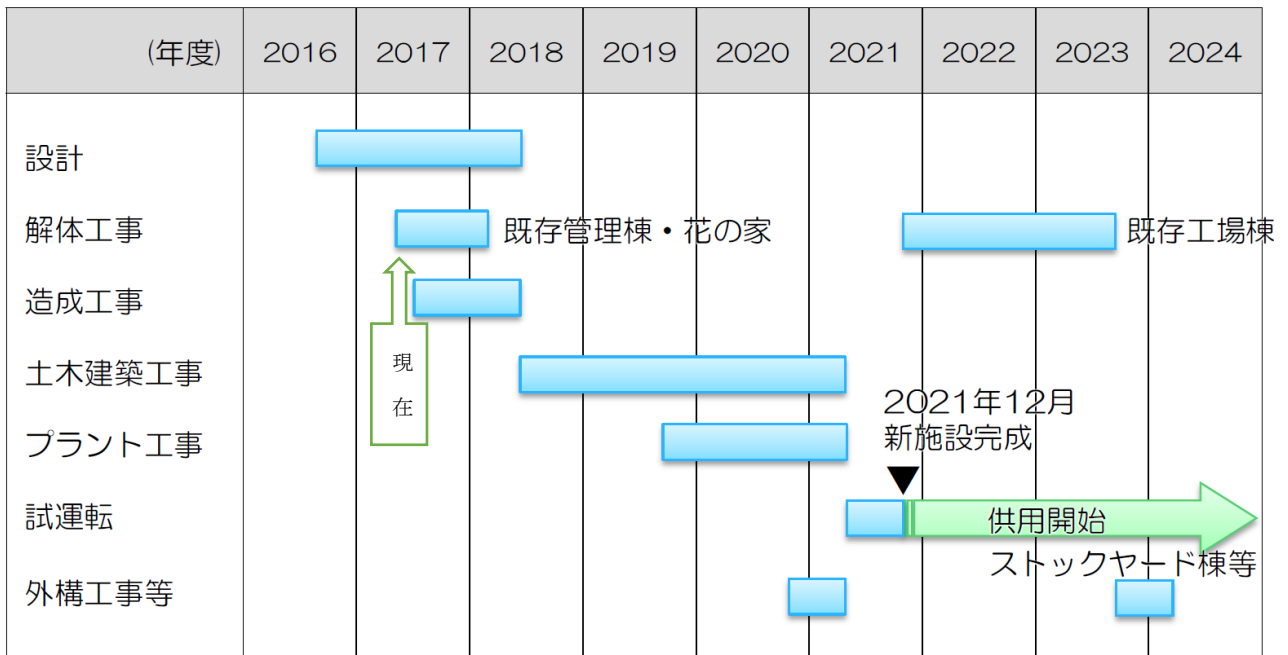
2017年6月17日に、町田リサイクル文化センター敷地内の旧花の家にて起工式を行い、周辺地区連絡会の委員を始め約120名の方々に出席をいただきました。

2017年7月1日には、旧管理棟と旧花の家の解体工事及び造成工事を行う第1期工事に着手し、現在は工事区域の仮囲いを終え、旧管理棟・旧花の家の解体、造成区域内の樹木の伐採等を進めています。

なお、旧管理棟については、事前調査にて外壁吹付材にアスベストの含有が認められたことから、法令等に従い安全に除去作業を行った後に解体工事を行う予定です。

(3) 今後のスケジュール（予定）

- 2017年7月～ 第1期工事（旧管理棟・旧花の家解体、造成）
- 2018年8月～ 第2期工事（管理棟・プラント建築）
- 2022年1月 熱回収施設等の整備完了／ 熱回収施設等の運営開始
- 2022年1月～ 第3期工事（既存工場棟解体、ストックヤード棟・外構整備）
- 2024年6月 既存工場棟等の解体撤去、外構工事等の完了



3 熱回収施設等の周辺施設の整備

※ 別紙参照

3 熱回収施設等の周辺施設の整備

新たな熱回収施設等の建設に伴い、有識者等の専門的な意見及び市民の意見を聴取することを目的として、「熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会」を設置し、「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」の検討を行っています。

これまでに、当検討委員会を2回開催しましたので、経過の報告をいたします。

(1) 背景

新たな熱回収施設等の建設に伴い、「町田リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会」から、「忠生地域・バリューアッププラン」が提出されました。同プランを踏まえて、2017年2月に策定した「町田市5カ年計画17-21」の中で、重点事業として、最終処分場の上部を活用したスポーツ施設などの整備と、市立室内プールの敷地内に設置する「健康増進温浴施設」の整備を位置づけています。

これらを具体化するために、2017年1月から3月にかけて、まちづくり協議会メンバー及び同協議会に所属する各町内会・自治会から主に子育て世代等の参加者を募り、「町田リサイクル文化センター周辺まちづくりワークショップ」を3回開催し、活発な意見交換を行い、4つの提案がまとめられました。

このワークショップの提案を受けて、「熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会」において、「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」の検討を行っています。

(2) 対象

基本構想の対象は、以下のとおりです。

- ア 最終処分場等（最終処分場、旧埋立地）において、上部を利用した多目的広場やスポーツ施設などの公園の整備
- イ 町田市立室内プール敷地内駐車場において、幅広い世代の健康増進と交流を目的とした健康増進温浴施設の整備



(3) 最終処分場等

最終処分場等については、全体として基本構想を描き、最も早く整備を行うことが可能な「池の辺地区」の活用を図り、その後に段階的な整備を行うこととします。第2回までの委員会では、機能分担及びゾーニングに関して、以下のとおり検討しています。

◆池の辺地区

池の辺地区は、平たん部、斜面（堰堤）、緩衝斜面など、敷地を分節化し、子どもが自由に遊べる広場やスポーツも楽しめる多目的広場を設けるなど、それぞれの特性にあった使い方ができるように検討しています。

◆峠谷地区

峠谷地区は、フットサルやソフトボールなど、スポーツ専用のグラウンドを配置し、スポーツを楽しむことが出来る空間とするよう検討しています。

◆旧埋立地

旧埋立地は、「交通公園」とする方向で検討しています。

(4) 健康増進温浴施設

施設の敷地は、町田市立室内プール第一駐車場とし、概ね3階程度の建築物の高さ及び規模とします。

健康増進温浴施設に導入を検討している主要な機能は、以下の表のとおりです。

◆主要な機能

機能	主な内容
温浴施設	○浴槽、洗い場、サウナ、露天風呂、脱衣室、洗面、トイレ
食堂・軽食コーナー	○厨房、飲食スペース
休憩所	○畳敷き、椅子掛け両方のスペース ○可能な範囲でキッズスペース、屋外テラス等
多目的室	○会議や余暇の教室等、多目的に使用できる部屋

(5) 熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会

◆経過及び日程

日程等		主な内容
第1回	2017年5月18日(木) 18:00~20:00	○忠生地域・バリューアッププラン及びワークショップ実施結果についての整理 ○意見交換
第2回	2017年7月13日(木) 18:15~20:20	○「熱回収施設等の周辺施設等整備基本構想」たたき台検討 ※会議開催前に最終処分場等の現場視察を行いました。
第3回	2017年9月28日(木) 18:00~(予定)	○「熱回収施設等の周辺施設等整備基本構想」素案の検討
10月以降市民意見募集を行う予定です。		
第4回	2018年1月(予定)	○「熱回収施設等の周辺施設等整備基本構想」案の検討

◆組織

当該検討委員会は、以下のとおりの体制で構成しています。

- ・ 学識経験を有する者 2人
- ・ 町田リサイクル文化センター周辺地域まちづくり協議会委員 4人
- ・ 青少年健全育成地区委員会 1人
- ・ 地域スポーツ団体 1人
- ・ 協力員 1人